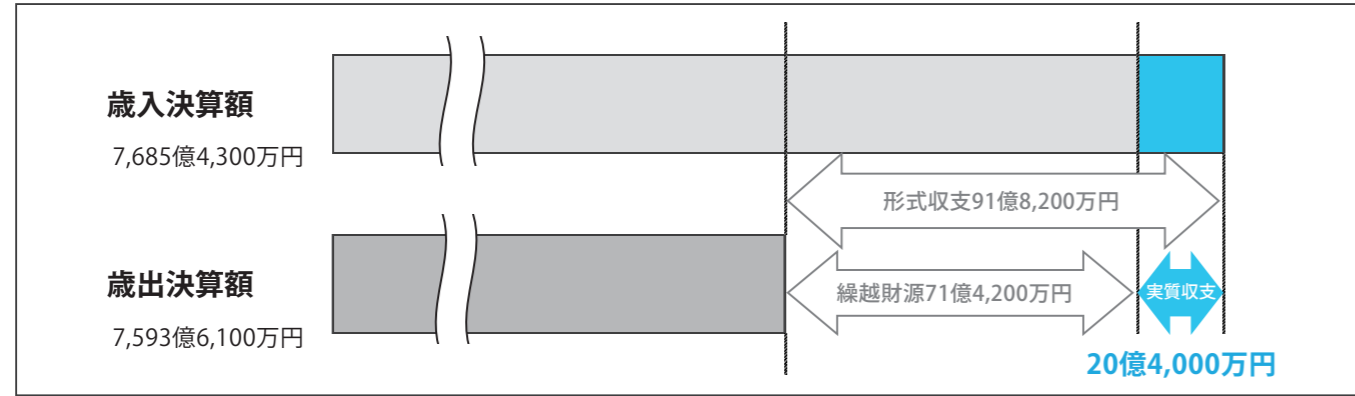


# 平成30年度の決算を承認しました!

一般会計決算収支の状況 **実質収支 20億4,000万円(黒字)**

社会保障関係費が増加した一方で、所得の増加などに伴う個人市民税の増や「神戸市行財政改革2020」に基づく取り組みを着実に進めたことなどから、**実質収支の黒字を確保しました。**



## 本会議にて 代表質疑

1. 多様性を認める神戸へ
2. 区役所の窓口サービスをよくするために
3. 教員の多忙化対策について

「神戸に住んでよかった」と、市民のみなさんが実感できるまちへと変えるため神戸の魅力を高める政策を提案しました

## 1. 多様性を認める神戸へ

**Q** 神戸市でも障がい者の方の声を聴くことや性犯罪被害者、LGBT\*(性的マイノリティ)の方への支援について取り組みを進めるべきと考えますが、ご見解は?

※LGBT(エル・ジー・ビー・ティー)とは、女性同性愛者(レズビアン)、男性同性愛者(ゲイ)、両性愛者(バイセクシャル)、トランスジェンダーの各頭文字を組み合わせた単語で、セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)の総称のひとつです。

久元市長

一人一人の個性を尊重する。障害者や性犯罪被害者、LGBTなど、少数者の意見を尊重するという事は市政を運営していく上で大変大事な課題、眼目だというふうに考えております。

高齢者、外国人、障害者の方々など、誰もが活躍するまちづくりに重点を置いた施策として、ユニバーサルデザインのまちづくりや障害者が安心して暮らせるための支援などに取り組んでいます。

今後は次期ビジョンの策定に当たりまして、少数者の意見も反映できるように取り組んでいきたいと考えております。



**伊藤の要望** 学校現場でも教員への研修なども含め、LGBTの生徒への理解が進むように取り組んでください。

## 2. 区役所の窓口サービスをよくするために

**Q** 行財政改革による組織のスリム化は必要ですが、特に市民対応の最前線である区役所窓口については、昼休みも通常対応する、複雑な相談にも対応する等、サービスの質の向上を念頭に置いた体制や人員配置をするべきと考えますが、ご見解は?

**岡口副市長** 区役所は、市民にとって最も身近な行政機関であり、その役割は大変重要であります。

市民相談に対応する専門性の高い業務についても、市民サービスの向上を図るための新たな取り組みを進め、ますます専門的知識を必要とする業務や相談業務などにつつまして、重点的に職員を配置する必要があるのではないかと考えております。

**伊藤の要望** 災害時に対応できるよう、ごみ収集や上下水道管理などは十分な人員で、技術継承をしたり、地域の情報共有ができるような体制を整えてください。



## 3. 教員の多忙化対策について

**Q** 教員の多忙化解消のため、教頭業務補助スタッフの増加や、外部人材の活用をさらに進めるべきと考えますが、ご見解は?

**長田教育長** 教頭業務補助スタッフは、今年度は、小学校62校、中学校26校の計88校に配置しています。小学校では163校中101校、中学校では82校中56校が現在未配置という状況なので、順次取り組んでいきたいと考えています。スタッフの配置により、電話、来客対応、職員への情報伝達、また、文書の仕分けや配布、印刷業務などに係る教頭の業務負担が軽減されます。

そのため、教頭が、校内や授業を見ることができるようになり、若手教員などに対してアドバイスや指導を行える機会が増えました。

また、学校のマネジメントに注力することで、学校の組織力強化におきましても効果が得られています。引き続き、教員の多忙化解消と学校の組織力強化に取り組んでまいります。



**伊藤の要望** 学校の現場を行政職員が体験する取り組みは、学校の業務改善のためには重要な体験であると思います。外部コンサルティングを活用して、教員の業務量や残業時間を把握して改善するなど、教員の多忙化対策についてさらに取り組んでください。



## 神戸市会 インターネット中継

本会議も委員会も、神戸市会インターネット中継で配信されていますので、ご覧いただけますし、もちろん市役所内での傍聴も可能です。ご興味を持っていただければ幸いです。

録画中継 → 伊藤めぐみ → 令和元年 第2回定例会市会【9月議会】決算質疑9月26日

スマートフォンやタブレットなどこちらのQRコードからご覧いただけます。

